

A4サイズの防災用毛布の開発に成功。 今後も様々な事業に挑戦したい

株式会社フロムハート 営業部 営業課 課長 友永 侑里

【事業計画名】

平成24年度補正 不織布を利用した防災用毛布3層化及び国内生産に伴う自社縫製機械の開発



■ 企業情報 ■

【創業年月】 1986年4月17日
【代表者】 宮川 隆彦
【本社所在地】
〒780-0056 高知県高知市北本町1丁目10番28号
【TEL/FAX】 088-855-3500 / 088-826-2050
【Webサイト】 <http://www.fromheart.net/>
【資本金】 1,200万円
【従業員数】 20名
【取扱製品】 防災用品・食品

不織布が可能にしたスペースいらずの 新防災用毛布

フロムハートは防災用品の卸小売業をしておりまして、各地方自治体様や民間企業様、それから地域の自治会様向けに防災用品の販売、卸売をさせていただいております。他社さんの製品の仕入れ、販売もしておりますが、弊社は自社製品も開発しておりますので、メーカー兼商社と言えるかもしれません。

自社製品には防災用の毛布があります。一般的な防災用の毛布は、備蓄するにはかなり大きく重いんです。メーカー様にもよりますが、1箱10枚入りで大体15kg程。大きさも真空圧縮をしても、1枚あたり75×55×33cmと大きく、それが10枚ともなるとなかなか一人では持ち運べません。広い備蓄スペースが必要で、搬出する際の手間も必要で、と考えた結果、「防災用の毛布は買いにくい」と思われる方が多くいらっしゃいます。そのようなお客様のお声を受けて防災用毛布を開発いたしました。

この防災用毛布はコンパクトかつ軽量、そして普通の毛布と同じくらいしっかり温かい製品です。素材には普通の織毛布ではなくマスクなどに使用する不織布、断熱のフィルムを使っております。最も特徴的な部分はそのサイズで、およそA4サイズのタブレットと同じくらいの大きさです。今までは、毛布というと倉庫に山積みになっており、必要になったら出すといった保管方法が多

いと思います。しかしこの製品は倉庫のようなスペースは必要なく、一人一人に渡してデスクに入れておくといったこともできますし、もしもの時のためにカバンや非常持ち出し袋の中にも入れられるくらいコンパクトになっております。

また、防災用毛布に使用している素材はメーカーによって異なります。マイクロファイバーやフリースなど、様々な素材がありますが、従来の素材だとどうしても真空圧縮した際に厚みが出てしまうんですね。そこで、防災用毛布の前に作った弊社の自社製品にも利用した不織布を使ってみようと、開発を始めました。手前味噌ですが、非常に画期的な毛布になったと思います。

防災だけでなく様々な側面から お客様のサポートをしたい

現在自社製品の販売分は、梱包や真空圧縮および検品・検針を弊社で行っているのですが、縫製自体は中国で行っています。どうしても国外産となると避けるお客様もいらっしゃるの、日本製の不織布毛布が作れないかと。その試作の縫製をするためのミシンや検針機を、ものづくり補助金を利用して導入しました。まだ販売の段階までは進んでおりませんが、ゆくゆくは現在の毛布も日本製にシフトしていきたいです。メイドインジャパンを求めているお客様は多くいらっしゃるの、できるだけ応えていきたいですね。

不織布毛布に限らず、お客様のお声をお伺いして要

望や困ったことや問題点を解決していく商品を作って、
こうというのが、弊社のモットーですので、今後はお客様の
声をより近いところでお伺いして、お役に立てる商品
を作っていきたいです。防災用品が販売の主力になっ
ていますが、それ以外の事業にもチャレンジしていくの
で、お客様が困っていることに関してはいろいろとお手
伝いしていきたいですね。

とはいえ弊社はまだものづくりを始めたばかりなので、
アイデアはあっても技術力が足りないということもある
と思います。ですので、技術の面で協力していただける
企業様とのタッグも考えております。



株式会社フロムハートの主な製品

